

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜盲学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年11月3日(金・祝) 8:50~10:50
- 3 開催場所 岐阜盲学校 体育館及び校長室
- 4 参加者

会長	池谷 尚剛	岐阜大学教育学部 名誉教授
副会長	栗野 粧子	本校PTA 会長
委員	神 尚喜	視覚障害者生活情報センター 主任
	平井 花画	岐阜県ユネスコ協会 会長
	松本 公	京町自治会連合会 会長
	吉田みはる	本校同窓生 吉田はり灸院
学校側	兒玉 哲也	校長
	竹花 容子	事務部長
	立川麻里子	教頭

5 会議の概要(協議事項)

(1) 本校の文化祭のあり方について

- ・本校の文化祭(小学部と中学部のステージ発表)を鑑賞する。
- ・今後の本校の文化祭のあり方について協議する。

意見1: 児童生徒が生き生きと活動できていた。

意見2: 一人一人の個性を大切にしている盲学校の良いところがステージ発表からも伝わってきた。人数は少なくなってきたが、文化祭がお祭りのような場になっており活気があった。

意見3: ナレーションも周りの方にはっきり伝わるように話すことができていた。頑張ればやれば何でもできることを証明できた。

意見4: 岐阜盲学校でしかできない文化祭と感じた。地域の方々にも来校いただくことで盲学校を知っていただき、通学途中などにかかわりや支援される機会も出てくるのが考えられる。

意見5: コロナ禍が終息して日常を取り戻し文化祭も楽しむことができるようになったことで、岐阜盲学校らしさが出てきた。時間はかかるかもしれないが、過去にさかのぼってやってきたことをアレンジして今後の方針を決めていく必要がある。また、岐阜盲学校は130周年を迎えるが児童生徒が減少してきており、今後の盲学校がどのような役割を担っていくのか分かりやすい形で示していく必要がある。

意見6: 岐阜盲学校のトイレの便座にウォシュレットが設置されていない。家庭の生活様式に合わせていくこと、特別支援学校は時代の流れの中で新しいも

のを一番先に取り入れていく必要があるように感じる。

意見7：先生方が児童生徒に愛情深く、しっかりと寄り添っている姿に心温まり癒された。小学生が会場の笑いを取り、自信にあふれていた。中学生は恥ずかしさを乗り越えて舞台に立っていることに惹きつけられるものを感じた。

6 会議のまとめ

- ・第2回学校運営協議会は、本校の文化祭の一部を鑑賞した上で、今後の文化祭の在り方などについて委員から意見を得る機会とした。コロナ禍が終息していくなかで、今年度の文化祭開催方法については地域の方をお招きできなかったことは残念としつつ、今後は地域住民や関係機関に参加を呼びかけることで視覚障がい者理解につなげる機会とするなど本校文化祭の開催意義について貴重な意見を得た。
- ・ステージ発表については児童生徒の個性を大切に生き生きとした表情や姿がたくさんあり充実した文化祭であると評価された。